

Energy Resource Aggregation クラウドサービス

技術テーマ区分番号 : ④⑤⑦

取組活動の内容

事業目的・概要

● 経緯・背景など

コロナ禍からの復興と連動し、社会の脱炭素化に向けた再生可能エネルギーの主力電源化が急加速しています。ただしPVや風力発電のように天候に依存した発電量が増加すると、その変化に対応できる新たな調整力で電力システムの安定化を図る必要があります。その解決手段としてVPP(Virtual Power Plant)が注目されています。

● 方針・アプローチなど

○ 電力系統と分散電源をICTで繋げるプラットフォームの提供

企業や家庭などが保有する蓄電池・発電設備などのエネルギー設備を、ICT・IoT用いて制御・最適化し、電力の需要と供給を調整するクラウドサービスを提供します。

○ お客様/NECのリソースを活用したアグリゲーション事業

NEC内やお客様の分散電源を活用し、RAクラウドサービスを用いたリソースアグリゲーションビジネスを目指します。

● 期待される効果・今後の課題や展開など

本サービスでは、蓄電池・エネルギー管理システム・EVなどの分散電源の余力を調整力として市場を介して提供することができ、お客様の資産価値向上と脱炭素社会実現への貢献を両立することが可能です。

イメージ図



図1: NECの目指すリソースアグリゲーションビジネス

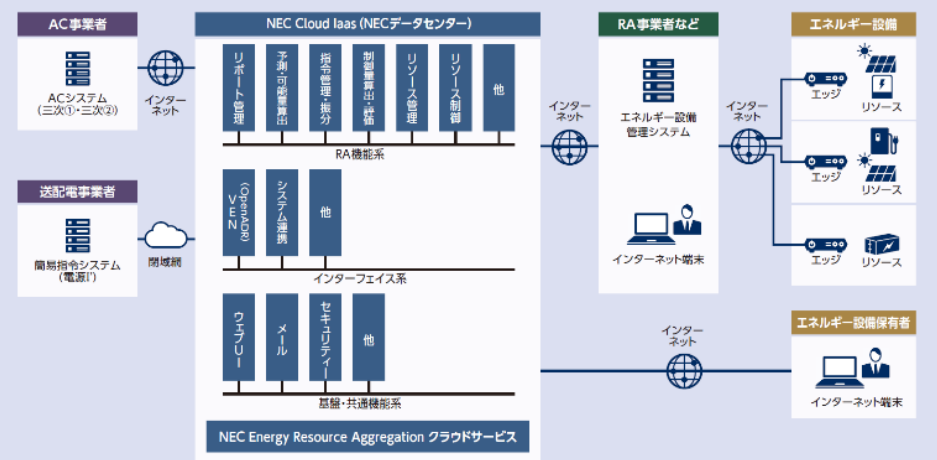


図2: NEC Energy Resource Aggregation クラウドサービス